

# 豊橋市におけるSDGsの取り組み

---

SDGs未来都市／世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり

# 豊橋市の概要



人口 : 375,474人(R2.12.1現在)

※内、外国人18,717人

面積 : 261.88km<sup>2</sup>

歴史 : 明治39年(1906年) 市制施行

平成11年(1999年) 中核市へ移行

令和元年(2019年) 「SDGs未来都市」に選定



－ 豊橋市の目指すSDGs未来都市の概要－

# 豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり

## 目指す将来像

 豊川水系でつながる東三河地域の水環境及び森林環境が持続可能な活動や教育等により保全されている

 「現在から未来へ」「豊橋・東三河から世界（開発途上国）へ」水道技術が継承され、安全・安心な水が安定的に供給されている

○豊川水系の恵みが受け継がれる都市

○環境保全意識が高く国際感覚に優れた都市

○開発途上国の水環境改善に寄与する都市

○グローバル経験が活かされた水道技術力の高い地域

## <主な取組み>

- ・地域や開発途上国での様々な協力活動の推進 / 東三河地域の市町村やインドネシアへの水道技術者の派遣 等
- ・環境教育や環境美化活動等の推進 / 530運動の展開、子どもたちへのESD等の環境教育、間伐等の環境体験学習 等
- ・地域資源の利活用による再生可能エネルギーの生産 / 下水汚泥や生ごみを活用したバイオマス発電 等



# 豊橋市SDGs未来都市計画における三側面の取組み

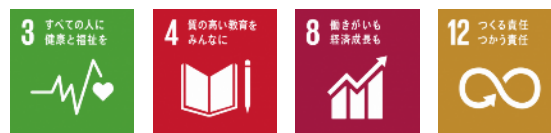
## 経済 水と緑に係る経済活動の活性化

- 民間バイオマス発電施設整備への支援と新たな雇用の創出
- 水に係る日本製品の海外販路拡大
- ライフラインの耐震化
- 施設等への地域木材の活用 など



## 社会 水と緑を守る人材の育成

- 国内外の水道技術者の育成
- ESD等の環境教育（ユネスコスクール）
- NPO等による環境体験学習（間伐等）
- 豊橋発祥「530運動」の普及啓発
- 技術のある高齢者の活躍 など



## 環境 水と緑の環境保全

- 水源林の適正管理と自然災害等の防止
- 開発途上国（インドネシア）における水（水道）環境等の改善
- 野生動物保全のための国際協力活動（ボルネオ島）
- バイオマスの有効活用（下水汚泥、生ごみ、木質バイオマス） など



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



## インドネシアでの水道技術支援



15 陸の豊かさも  
守ろう



# ボルネオ保全プロジェクト



豊橋総合動植物公園  
ZOO & BOTANICAL PARK



# 令和2年度のSDGsの取組み

●フードバンクの実施



●大学生等の交流スペース「ガクラボ」の開設



●豊橋市地域新電力会社の設立



●豊橋わかば議会の開催



●豊橋市SDGs推進パートナー制度



など

2030年、誰もが幸せに暮らせる社会の実現を目指して、  
「SDGsで持続可能なまちづくり」に取り組みます。

ご清聴ありがとうございました。